学校番号	４１１

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	詳説世界史改訂版世界史Ｂ　（山川出版）						
副教材等	ニューステージ世界史詳覧（浜島書店） 時代と流れをつかめる用語問題集世界史Ｂ（文英堂）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界の諸地域の文化的枠組みがどのように形成され、変化してきたのか、また世界の諸地域の関係がどのようにして現在のようなかたちになったのか、という問いを掲げて、世界の歴史の展開を学ぼう。さらに、現代がそれ以前の時代と比較してどのような特色をもっているかを考察し、現代の世界についての理解を深めてほしい。

２　学習の到達目標

世界の歴史の大きな枠組みと展開を、現代の世界と関連づけて総合的に理解させ、諸地域の文化の多様性と現代世界の特質を、グローバルな視野から俯瞰的に理解させる。歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる現代人としての教養と判断力を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	原始･古代から現代に至る歴史の展開に対する関心を高め、意欲的に追究し、歴史的な思考力を育み、国際社会に主体的に生きる現代人としての態度を養う。	原始･古代から現代に至る世界の歴史の展開を総合的に思考し、政治・経済・社会・文化などの諸要素を多面的に考察・判断して、文章にまとめて表現する。	教科書・副読本に掲載されている地図や写真、図版などの諸資料を適切に活用し、その中から歴史上の要点を読み取って、各時代の特色について理解を深める。	原始・古代から現代に至る世界の歴史についての基本的な事柄を学び、俯瞰的に世界の歴史を理解し、その知識を身につける。
評価方法	作業プリント	定期考査 作業プリント	定期考査 作業プリント	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	第Ⅰ部	第1章　オリエントと地中海世界					a:古代オリエント・ギリシア・ローマ・インド・東南アジア・中国・アメリカの形成過程について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 古代オリエント・ギリシア・ローマ・インド・東南アジア・中国・アメリカの形成過程について多角的に考察し、その課程や特質を適切に表現している。 c:教科書に掲載されている古代地図や考古学資料の写真などを適切に活用している。 d: 古代オリエント・ギリシア・ローマ・インド・東南アジア・中国・アメリカの形成過程について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント
		1.古代オリエント世界	○	○	○	○		
		2.ギリシア世界	○	○	○	○		
		3.ローマ世界	○	○	○	○		
		第2章　アジア･アメリカの古代文明						
		1.インドの古典文明	○	○	○	○		
		2.東南アジアの諸文明		○	○	○		
		3.中国の古典文明	○	○	○	○		
		4.南北アメリカ文明	○	○		○		
		第３章　内陸アジア世界・東アジア世界の形成						
		1.草原の遊牧民とオアシスの定住民		○		○		
		2.北方民族の活動と中国の分裂		○		○		
		3.東アジア文化圏の形成		○	○	○		
	第Ⅱ部	第4章　イスラーム世界の形成と発展					a:イスラーム世界成立の背景と発展、中世ヨーロッパ世界成立の背景と発展について、関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: イスラーム世界成立の背景と発展、中世ヨーロッパ世界成立の背景と発展について、多角的に考察し、その課程や特質を適切に表現している。 c:教科書に掲載されている西アジアの地図や中世ヨーロッパの地図を適切に活用している。 d: イスラーム世界成立の背景と発展、中世ヨーロッパ世界成立の背景と発展について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント
		1.イスラーム世界の形成	○	○	○	○		
		2.イスラーム世界の発展		○	○	○		
		3.インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化		○	○	○		
		4.イスラーム文明の発展	○			○		
		第５章　ヨーロッパ世界の形成と発展						
		1.　西ヨーロッパ世界の成立	○	○	○	○		
		2.　東ヨーロッパ世界の成立				○		
		3.西ヨーロッパ中世世界の変容	○	○	○	○		
		4.西ヨーロッパの中世文化	○	○	○	○		

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
2学期	第Ⅱ部	第6章　内陸アジア世界・東アジア世界の展開 1.　トルコ化とイスラーム化の進展 2.　東アジア諸地域の自立化 3.　モンゴルの大帝国	 ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○	a:宋代の東アジア諸地域の勢力交代、モンゴル帝国の興亡について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 宋代の東アジア諸地域の勢力交代、モンゴル帝国の興亡について多角的に考察し、その課程や特質を適切に表現している。 c: 教科書に掲載されている宋代の社会・文化の特色を示す写真、図版やモンゴル帝国の領域図などを適切に活用している。 d: 宋代の東アジア諸地域の勢力交代、モンゴル帝国の興亡について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント

	第Ⅲ部	第7章　アジア諸地域の繁栄					a:明朝、清朝の動向、イスラーム諸王朝の繁栄、近世ヨーロッパの主権国家体制について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 明朝、清朝の動向、イスラーム諸王朝の繁栄、近世ヨーロッパの主権国家体制について多角的に考察し、その課程や特質を適切に表現している。 c:教科書に掲載されている明・清とその周辺諸国の地図、ティムール朝の領域図、バロックやロココの図版などを適切に活用している。 d: 明朝、清朝の動向、イスラーム諸王朝の繁栄、近世ヨーロッパの主権国家体制について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント
		1. 東アジア世界の動向	○	○	○	○		
		2. 清代の中国と隣接諸地域		○		○		
		3. トルコ・イラン世界の展開	○	○	○	○		
		4. ムガル帝国の興隆と東南アジア交易の発展			○	○		
		第8章　近世ヨーロッパ世界の形成						
		1. ヨーロッパ世界の拡大		○	○	○		
		2. ルネサンス	○	○	○	○		
		3. 宗教改革		○		○		
		4. ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成		○	○	○		
		第9章　近世ヨーロッパ世界の展開						
		1. 重商主義と啓蒙専制主義	○	○	○	○		
		2. ヨーロッパ諸国の海外進出		○	○	○		
		3. 17～18 世紀ヨーロッパの文化と社会	○		○	○		
		第 10 章　近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立						
		1. 産業革命		○	○	○		
		2. アメリカ独立革命		○		○		
		3. フランス革命とナポレオン	○	○	○	○		
		第 11 章　欧米における近代国民国家の発展						
		1. ウイーン体制の成立		○	○	○		
		2. ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生	○	○	○	○		
		3. 南北アメリカの発展		○	○	○		
		4. 19 世紀欧米の文化	○		○	○		

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
3学期	第Ⅲ部	第12章 アジア諸地域の動揺					a:アジアの植民地化について意欲的に追究している。 b:アジアの植民地化について適切に表現している。 c:図版を適切に活用している。 d:アジアの植民地化について理解しその知識を身につけている。	定期考査 作業プリント
		1. オスマン帝国支配の動揺と西アジア地域の変容		○		○		
		2. 南アジア・東南アジアの植民地化	○	○		○		
		3. 東アジアの激動	○	○	○	○		
	第Ⅳ部	第13章 帝国主義とアジアの民族運動					a:第一次大戦、第二次大戦に至る経過やその影響、戦後世界の構造について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 第一次大戦、第二次大戦に至る経過やその影響、戦後世界の構造について多角的に考察し、その課程や特質を適切に表現している。 c:教科書に掲載されている図版、地図や、工業生産の推移などの表・グラフを適切に活用している。 d: 第一次大戦、第二次大戦に至る経過やその影響、戦後世界の構造について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント
		1. 帝国主義と列強の展開	○	○	○	○		
		2. 世界分割と列強対立	○	○	○	○		
		3. アジア諸国の改革と民族運動		○	○	○		
		第14章 二つの世界大戦						
		1. 第一次大戦とロシア革命	○	○	○	○		
		2. ヴェルサイユ体制下の欧米諸国	○	○	○	○		
		3. アジア・アフリカ地域の民族運動		○		○		
		4. 世界恐慌とファシズム諸国の侵略	○	○		○		
		5. 第二次世界大戦	○	○	○	○		
		第15章 冷戦と第三世界の独立						
		1. 戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立		○		○		
		2. 米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興		○		○		
		3. 第三世界の台頭と米・ソの歩み寄り	○	○		○		
		4. 石油危機と世界経済の再編		○		○		
		第16章 現在の世界						
		1. 社会主義世界の変容とグローバリゼーション	○	○	○	○		
		2. 途上国の民主化と独裁政権の動揺		○		○		
		3. 地域紛争の激化と深刻化する貧困		○		○		
		4. 現代文明の諸特徴			○	○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。